

平成 26 年度亀岡市環境基本計画推進会議の要旨について

平成 26 年 9 月 29 日 (月)
午後 1 時 30 分～午後 4 時
市役所 2 階 202、203 会議室

1 委任状交付

新任委員 5 名 (欠席者 1 名)

2 審議内容

1) 亀岡市環境基本計画の取組状況について

平成 25 年度第 2 次亀岡市環境基本計画の取組の進行状況を説明

主な意見	回答
「ごみの分け方・出し方」について、本市に暮らしている外国の方や一人暮らしの高齢者にとって、内容が難しく利用しにくい。漢字に送り仮名をふったり、内容を簡略化するなどして、分かりやすい冊子を作成してはどうか。(P.3)	英語版で「ごみの分け方・出し方」を作成しています。頂いたご意見については所管課に伝えます。
間伐材の搬出は、資源の再利用・災害防止の面からも必要だが、人手不足や採算が取れないため、間伐材が山中に放置されているケースが多い。(P.4)	(意見のみ)
進行管理の中で、公園の整備として都市公園 35 箇所、開発公園 149 箇所が挙げられているが、これは市から危険箇所を指導した数字か。(P.1)	都市公園 35 箇所、開発公園 149 箇所は、公園台帳の数字であり指導を行った数字ではありません。
ごみ置き場にごみが不法投棄されて困っている。(P.3)	市民や自治会の皆様のご協力のもと監視体制の輪を広げていきたい。不審な動きを察知したらすぐ市に連絡して欲しい。
有害鳥獣について、駆除対象の動物を増やして欲しい。(P.4、5)	法律の指定がないと難しいが、所管課に伝えます。
小学校では、数校で海ごみの環境学習に取り組んでいます。(P.4、7)	(意見のみ)

中学校では、生徒会を中心にエコキャップ運動、プルタブやインクカートリッジの回収活動を続けています。(P.7)	(意見のみ)
嵐山の景観を守るために、地理的特性上、亀岡が努力していることはあまり知られていない。このことは京都市にアピールした方が良い。(P.4)	(意見のみ)
「京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議」の参加報告。(P.6)	(報告のみ)

2) 環境マネジメントシステム取組結果について

平成25年度環境マネジメントシステム取組結果について説明

主な意見	回答
どのように工夫して電力使用量を削減したのか。(P.2)	廃棄物処理施設や下水処理場など大型の機械を使うような施設の更新により電力使用量を抑えられた面が大きい。
環境基本方針は、平成24年のままになっているが更新は。(P.1)	毎年、市長からマネジメントレビューを受けるが、変更箇所がないのでそのままとなっている。
廃プラスチックの処分量は、市域全域のごみから出るものだから、マネジメントの数値に入れるのはよくないのでは。(P.2)	亀岡市の事業に伴って排出される温室効果ガスが対象となるため、廃プラスチックの処分量も加えている。
下水処理の数値はどこまで含めているのか。し尿処理量は汲み取りだけか。(P.2)	下水処理量には、公共下水、農業集落排水、地域下水の処理量を含めている。し尿処理量は汲み取りだけです。
公用車の走行量の減少は、数値目標をたてて削減しているのか。(P.2)	数値目標は掲げていません。
廃プラスチック量が昨年に比べて極端に減少している原因は。(P.2)	廃プラスチック量については、焼却ごみの中から年4回組成調査を行い、一般廃棄物中の含有量を計算しており、サンプルに含まれる廃プラスチックの割合によって影響を受けている。

	また、製品パッケージの簡素化や白色トレイやペットボトルのリサイクルといった取組みの影響により廃プラスチック量が減少している。
--	--

3) みどりのカーテンコンクール応募作品の審査について

平成 26 年度みどりのカーテンコンクール応募作品を審査

(審査結果)

個人の部	…	最優秀賞	大西 勝
		優秀賞	大原 伸一
事業所の部	…	最優秀賞	京営殖産 株式会社
		優秀賞	馬路町自治会

4) その他

- ・平成 26 年度 環境フェスタのお知らせ
- ・環境基本計画取組状況について、審議事項が多岐にわたり、年 1 回の開催では、審議がつくせないため、次年度からは複数回会議を開催することです承。